

# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 8

H28. 10.17



今月のキーワード

「安心感」と「わかりやすさ」

読み物教材の指導

6月から市内の全小・中学校で英語の授業を参観させていただきましたが、9月下旬に第一回目の訪問が終了いたしました。大変お世話になりました。訪問を通して私自身もたくさんの学びがあり、今回は皆さんと共有したいこと等についてまとめてみました。後期も始まり、日々の教材研究等でお忙しい中ではありますが、今後の指導に役立てていただけると幸いです。

## 「安心感」と「わかりやすさ」

「安心感」と「わかりやすさ」は、全ての授業において重要な特別支援教育の視点です。特に英語教育においては、視覚的な手がかりを示すことや、段階的な指導を行うことは、誰もが参加できる活動のために欠かせない要素となります。

参観させていただいた授業の一部を御紹介いたします。

- 授業の始めに、めあてや活動の順番を黒板に示し、活動の見通しをもたせる。
- 言葉だけでなく具体物を使って例示したり、拡大したワークシートを黒板に貼り例題を一緒に解いたりしてから、リスニング活動を始める。
- 買い物活動で使う物の名前、値段の言い方、質問や答えのパターンを、ペアで練習してから実際の会話活動を始める。
- 活動途中の取組状況や活動の成果に対して、先生方が賞賛の言葉をかける。  
(友達の発表に対して拍手するなど、互いを認め合う雰囲気を醸成している。)



また、いくつかの小学校では、当番の児童が授業の最初と最後に前に出て、みんなと英語で挨拶を交わしたり、児童同士で絵本を使った3ヒントクイズを行ったりするなど、児童が主体的に参加できる場が設定されていました。

(例) **WORD BOOK** を使った、児童同士による3ヒントクイズ (石橋小)



児童 A : I can see two hen.  
教師 : Oh, you can see two hens!  
児童 A : Yes. Two hens.  
他の児童 : Page **35**.  
児童 A : That's right.



※ 教師が、さりげなく **Two hens?** と言い換えてあげることで児童は複数の言い方に気付くことができます。

## 読み物教材の指導にひと工夫



中学校の教科書には、各学年に応じた読み物教材が掲載されています。

例えば、**Sunshine English Course 3 “Faithful Elephants”**（戦時中に多くの動物が猛獣とみなされて殺処分されるなか、上野動物園の象ジョン、トンキー、ワンリーの実話をもとにしたお話）。

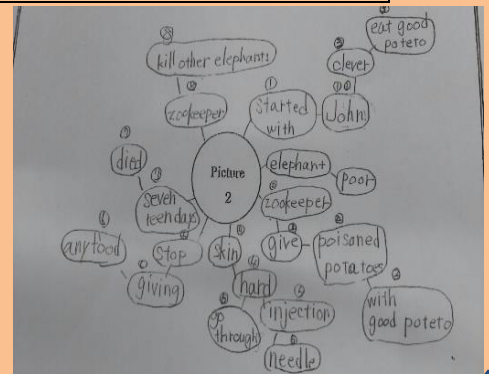
**Soon, it was time to kill the three elephants. The zookeeper did not want to kill them, but they had to follow the orders. They started with John. John loved potatoes, so they gave him poisoned potatoes together with good ones. But John was so clever that he ate only the good potatoes.** (P40 教科書本文より)

情景を思い浮かべながら、感情を込めて音読する（「読む」活動）の他に、単元全体ではどのような活動を取り入れたでしょうか。先日訪問した南河内第二中学校で実施されていた活動の一つ御紹介します。

リテリング **retelling**（本文の内容を自分の言葉で説明する活動）を単元の最後に位置付けた例の手順

- ① 各自で、段落ごとにキーワードを書き出します。  
(自分で話す順に番号を入れていきます→→)
- ② キーワードを見ながら物語の概要が話せるように1ページずつ各自で（家庭学習も含む）練習してきます。
- ③ 毎時間、帯活動で1ページずつ **retelling** をペアで行います。
- ④ 単元の最後には、ミニ絵本とキーワードを見ながら物語全体を通した **retelling** をします。

※「読む」「話す」「聞く」を関連付けた活動例です。



「読んだ内容の理解」だけではなく、「概要をまとめる」「自分の考えを表現する」等の活動を取り入れることで、「話す」「聞く」「書く」活動とも関連した活動に広がります。

(例)・段落ごとに英語で要約文を書こう

- “**Faithful Elephants**” 日本語での題名を考えよう。
- 印象に残った一段落を選び、翻訳家になったつもりで訳してみよう。
- 物語について友達と Q&A 活動しよう。(教科書の Q&A 以外で色々な質問を出し合う)
- 物語を読んだ感想を英文で書こう。
- 「もしあなたがゾウの飼育員だったら、どのようにしたと思いますか」(**After Reading** P43) 友達同士で意見交換をしてみよう。



**Retelling** は「ちょっと難しい・・・」と感じた場合には・・・



毎時間使用しているピクチャーカードを黒板に貼り、「この絵から言えることを英語で伝えよう」という活動を取り入れてみてはいかがでしょうか。まずは単語から OK。ペアで交互に単語を言う活動から始めてみてください！ 授業開始からの3分間で十分活動できます。